FMPRシリーズ

B5WY-0951-01

FMPRシリーズ

取扱説明書

カットシートフィーダ（FMPR-CF8）

FUJITSU

はじめに

このたびは，カットシートフィーダ（FMPR-CF8）をお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき，本機が十分機能を発揮できますよう正しい取り扱いをお願いいたします。
このカットシートフィーダは，漢字プリンタ-15 に搭載して，単票用紙を一枚ずつプリンタ装置に送り出し，印字した用紙をスタッカに送り出す一連の流れを自動的に処理する装置です。
なお，使用できる用紙のサイズは，B5 から B4 横長方向までの単票用紙および官製ハガキを自動的に印字できます。さらに，手挿入口を使用して A3 横長方向までの用紙に印字することができます。
このように，一枚ずつの印刷および自動給紙印刷を行えますので，効率のよい文書作成が実現できます。

さらにカットシートフィーダにホッパーユニット（オプション）を取り付けて使用しますと二種類の単票用紙へ自動給紙印刷ができます。

● VCCI 適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
マニュアルに従って、正しい取り扱いをしてください。

● 本製品およびオプション品のハイセイフティ用途について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

●本製品の廃棄について

製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

法人、企業のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託する必要があります。弊社は、「富士通リサイクル受付センター」を用意し、お客様の廃棄のお手伝いをしておりますのでご利用ください。詳しくは、ホームページ（http://eco.fujitsu.com/jp/）の「富士通リサイクルシステム」をご覧ください。

個人のお客様へ

個人のお客様は、上記「富士通リサイクル受付センター」をご利用いただけません。本製品を廃棄する場合は、必ず弊社専用受付窓口「富士通パソコンリサイクル受付センター」までお申込みください。受付窓口の電話番号、お申込み方法などについては AzbyClub ホームページ（http://azby.fmworld.net/recycle/）をご覧ください。

目　　　次

1.　カットシートフィーダのご使用方法

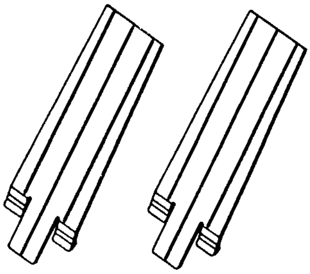
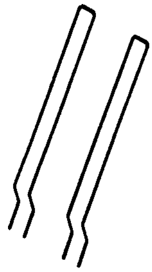
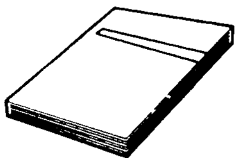
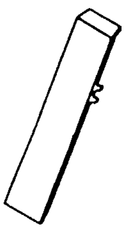
カットシートフィーダとは, カットシートフィーダにセットされた単票用紙を一枚ずつ連続的にプリンタに給紙し，印字した用紙をスタッカに送り出す自動給紙装置です。更に，A3横長サイズまでの用紙を，手挿入口からプリンタの印字位置まで手差しでセットして，一枚ずつ印字することもできるようになっています。
なお，カットシートフィーダを取り付けたまま，連続帳票用紙を使用できます。ただしこの場合は，連続帳票用紙を先にセットしておくことをお勧めします。
連続帳票用紙を使用するときは，リリースレバーを " 開 " にしてください。
また，「用紙カット」スイッチは，カットシートフィーダを搭載した場合には無効となります。

2.　使用上のご注意

(1)　カットシートフィーダを使用して「逆改行コマンドおよび, それに類するコマンド（用紙を逆方向へ送るコマンドおよび，逆方向送り動作が含まれるコマンド）」で印字した場合は，用紙送りの精度が悪くなるばかりでなく，用紙の送り不良になることがあります。
(2)　設置は，直射日光の当たる場所を避けてご使用ください。
(3)　用紙は, 温度, 湿度などの影響を受け易く, 安定した用紙送りへ悪影響を及ぼすため, 保管も含め常温常湿のもとでご使用ください。
(4)　落としたり、ぶつけたりして衝撃を与えないでください。
(5)　セットする用紙の枚数を単票用紙の場合(A4 サイズ 55Kg 用紙の場合)は 160 枚以内にしてください(用紙ガイドの赤線以内にセットしてください)。

3. 添付品

次のものが添付されていますのでご確認ください。

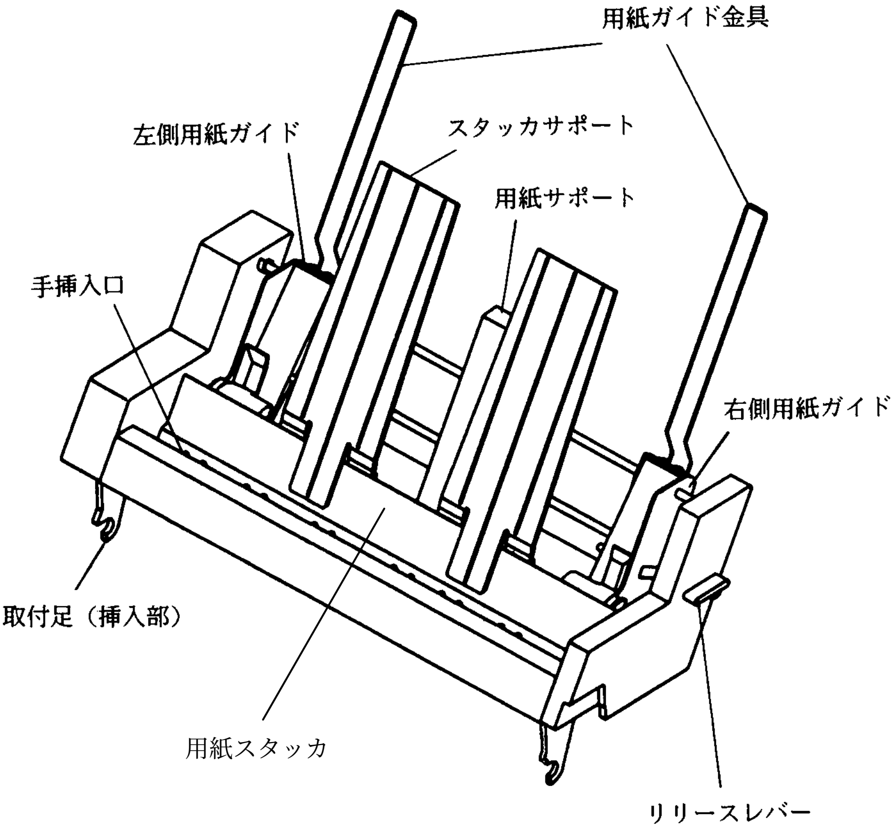
スタッカサポート（2 個）	用紙ガイド金具（2 個）
	
取扱説明書(本書)	保証書（梱包箱に貼付）
	
用紙サポート（1 個）	
	

お願い

- **保証書に必要な事項が書かれていることを確認してください。**
  お買い求めのときに、正しい記載のなかった保証書は無効となり、無償保証を受けられないことがあります。
- **お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。**
- **保証書は日本国内のみで有効です。**
- **なお、不明な点については、お買い求めの販売店、またはハードウエア修理相談センターまでお問い合わせください。**

『ハードウェア修理相談センター』
フリーダイヤル　：0120-422-297
受付時間　　　　：平日 9:00～17:00
（土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く）

4.　各部の名称

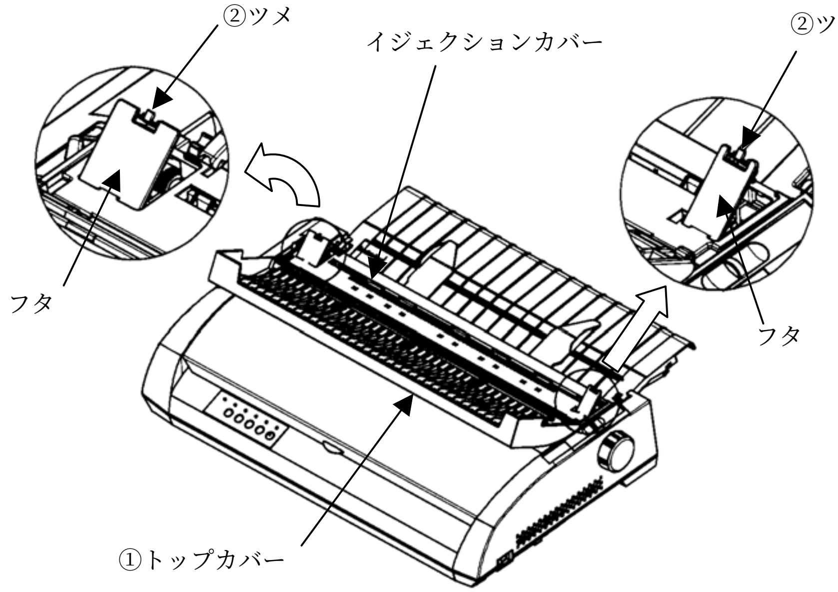

用紙ガイド金具
左側用紙ガイド
スタッカサポート
用紙サポート
手挿入口
右側用紙ガイド
取付足（挿入部）
用紙スタッカ
リリースレバー

5.　カットシートフィーダの搭載方法

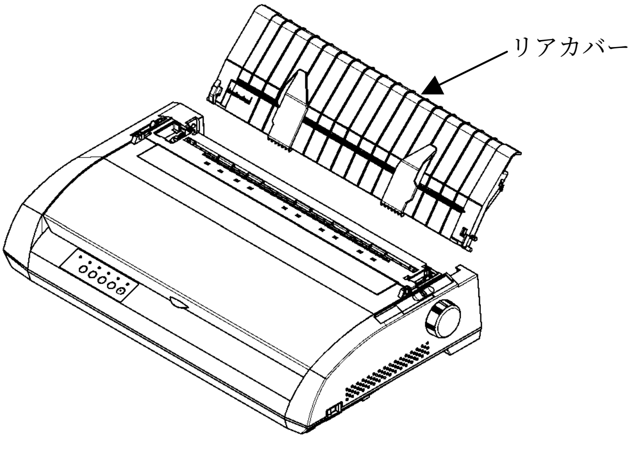
本製品は、FMPR3000/FMPR-373A に取り付け可能でありますが、FMPR3000 と FMPR-373A では取り付け方法が異なります。
お使いのプリンタ装置の取り付け章を参照し取り付けをお願いします。

5.1　FMPR3000 へカットシートフィーダを取り付ける

1. プリンタ装置の電源が OFF になっていることを確認してください。
2. プリンタのイジェクションカバーの左右のフタを取り外してください。
   ①　トップカバーを垂直に立てて持ち上げるようにして外します。
   ②　イジェクションカバー左右のフタを後側からツメを押しながら上部へ取り外します。（イジェクションカバー左右のフタは，カットシートフィーダを取り外した時に再び使用するのでなくさないようにしてください。）

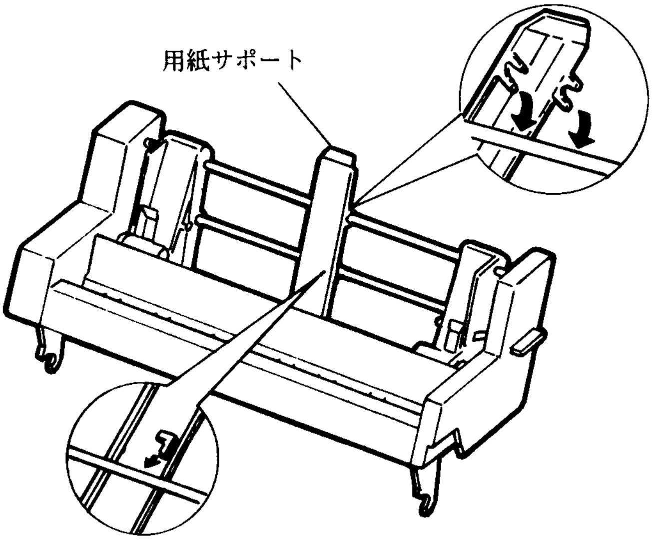


3. リアカバーを手前に起こしながら外します。

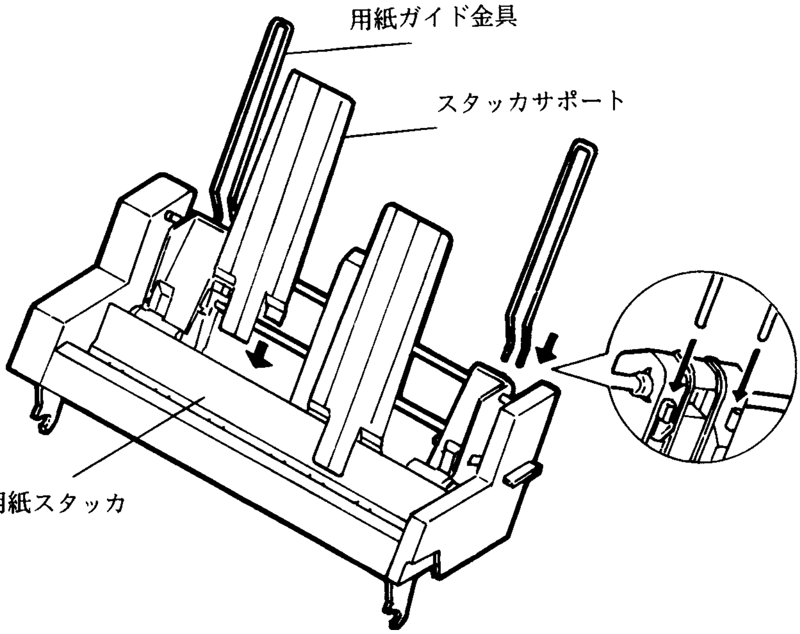


5.2　カットシートフィーダの取付け

①　用紙サポートを用紙ガイドのステーシャフトの中央に取り付けます。

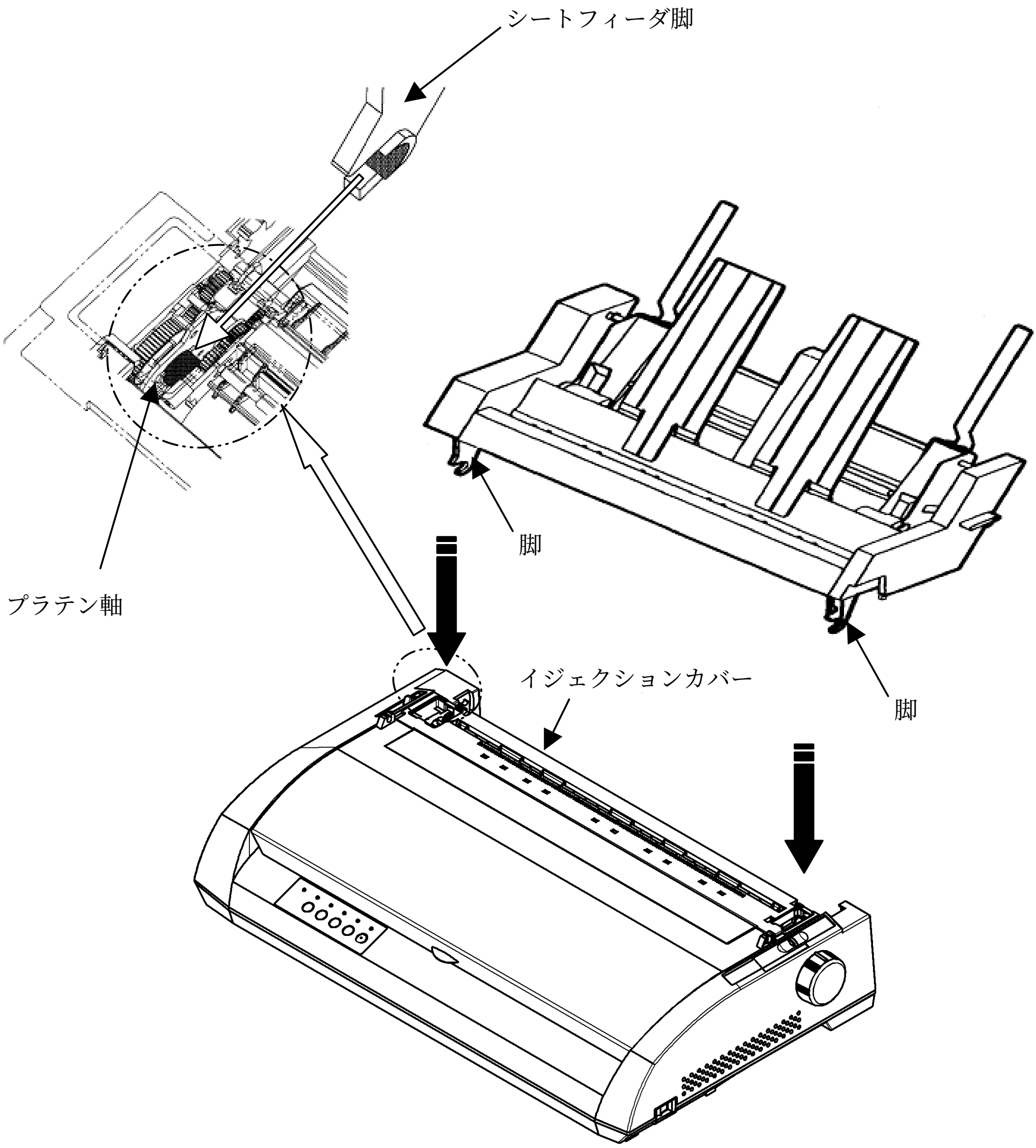


②　用紙ガイド金具（2 個）を左右の用紙ガイドに差し込みます。
③　スタッカサポート（2 個）を用紙スタッカに差し込みます。



④　カットシートフィーダをプリンタに搭載します。

イジェクションカバーの穴部にカットシートフィーダの脚を差し込み、プラテン軸に挟み込みます。　カットシートフィーダをやや手前に傾けて差し込み, 脚が軸に載ったら水平に戻します。



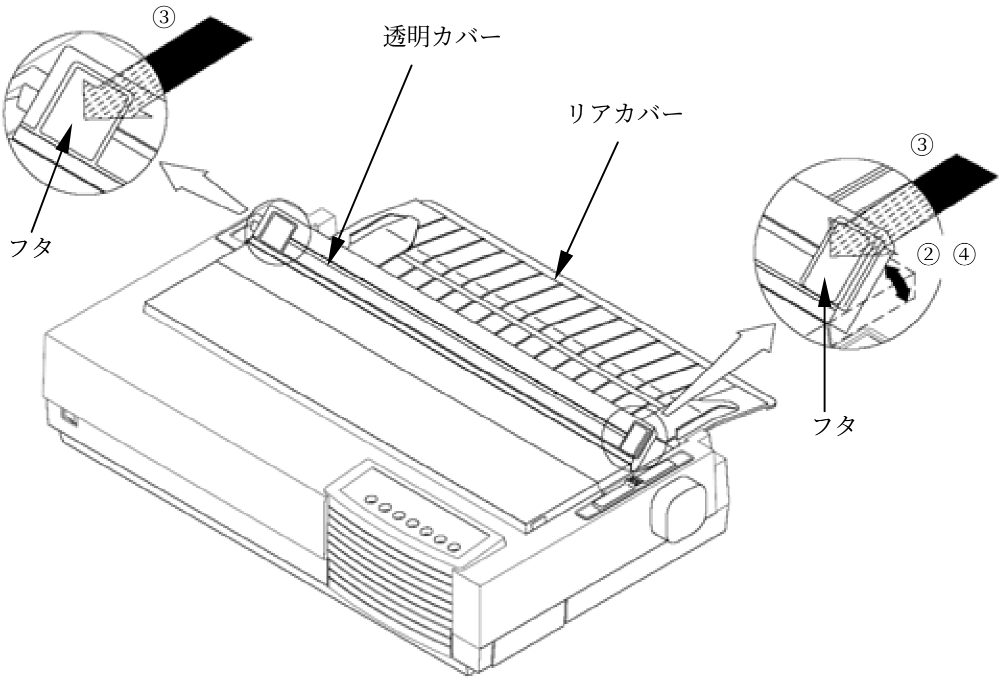
5.3　FMPR-373A へカットシートフィーダを取り付ける

①　プリンタ装置の電源が OFF になっていることを確認してください。

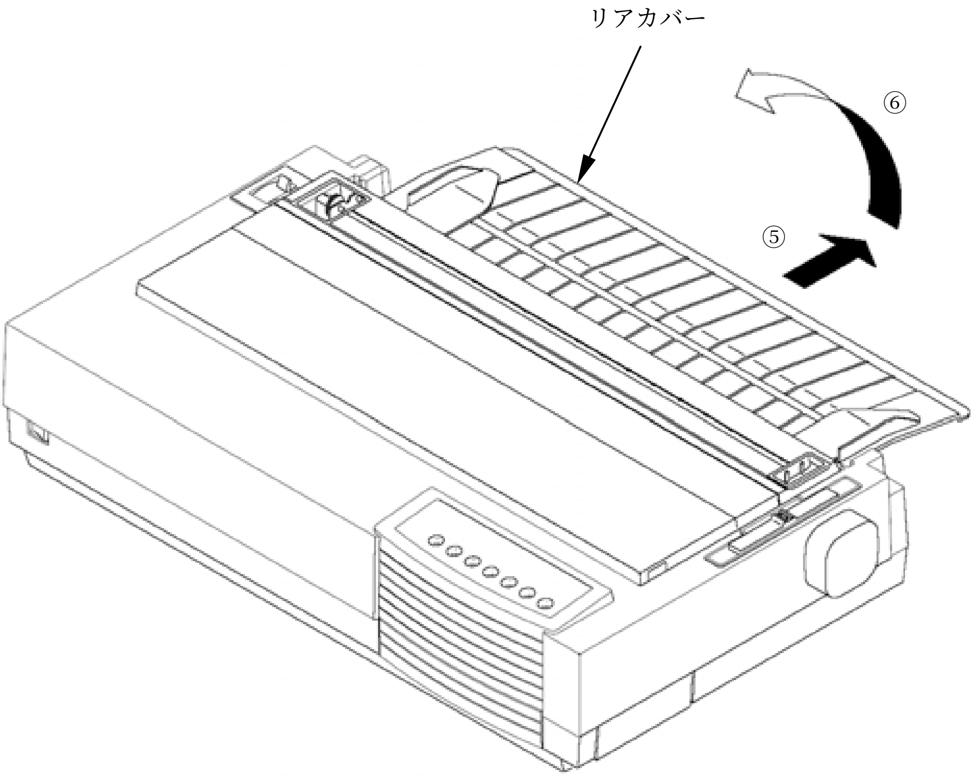
②　透明カバーを開けます。

③　左右のフタを裏側から押し出して取り外します（透明カバーのフタは，カットシートフィーダを取り外したとき再び使用するので，なくさないようにしてください）。

④　透明カバーを閉じます。

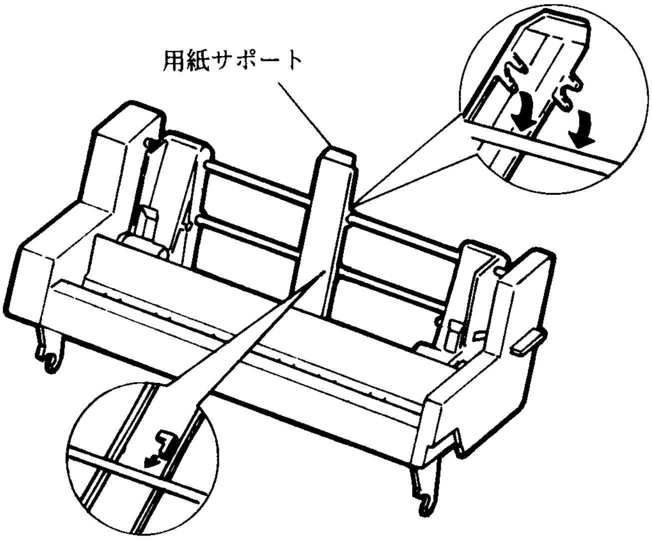


⑤　リアカバーを後方に引きます。
⑥　リアカバーを手前側に回転します。



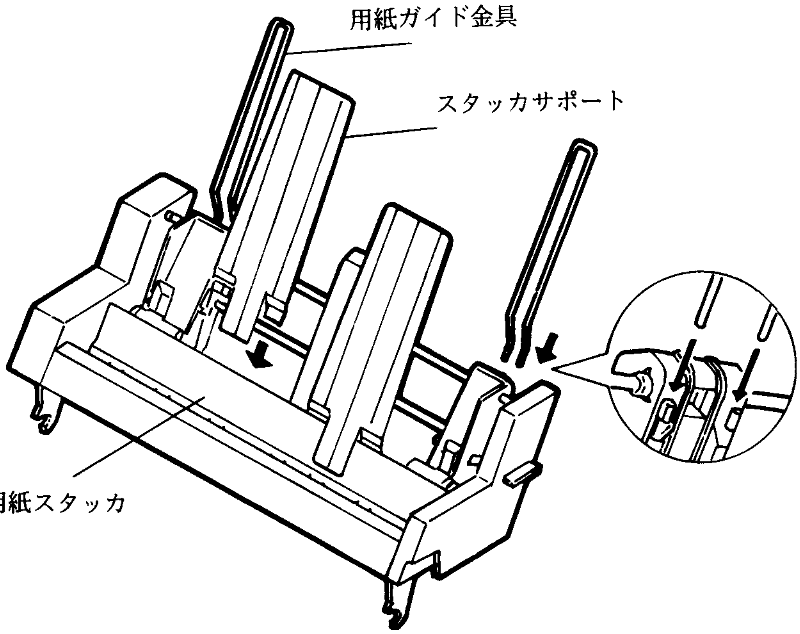
5.4　カットシートフィーダの取付け

① 用紙サポートを用紙ガイドのステーシャフトの中央に取り付けます。



② 用紙ガイド金具（2 個）を左右の用紙ガイドに差し込みます。

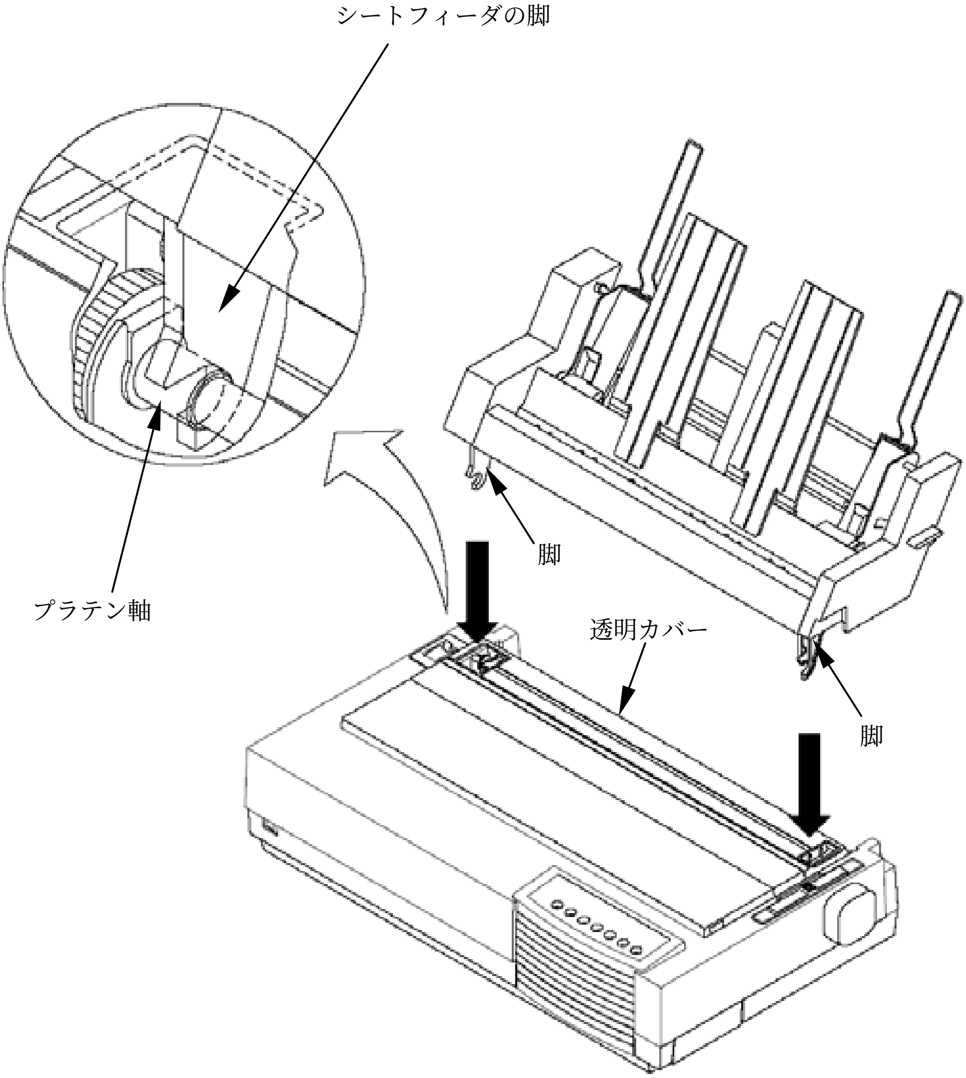
③ スタッカサポート（2 個）を用紙スタッカに差し込みます。



④　透明カバーの穴部にシートフィーダの脚を差し込み，シートフィーダをプリンタに搭載します。

このとき，シートフィーダをやや手前に傾けて差し込み，脚がプラテン軸に載ったら水平に戻します。

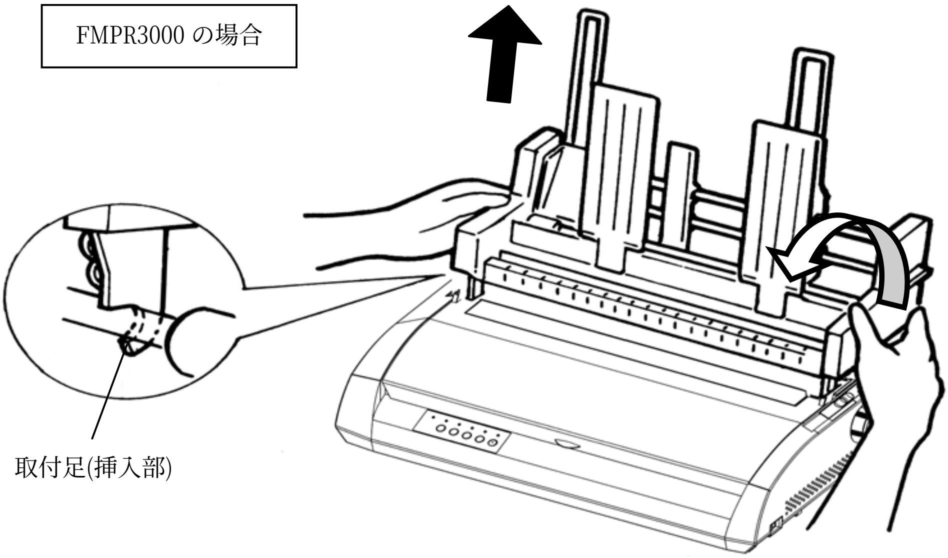
透明カバーは，プリンタに装着したままご使用ください。



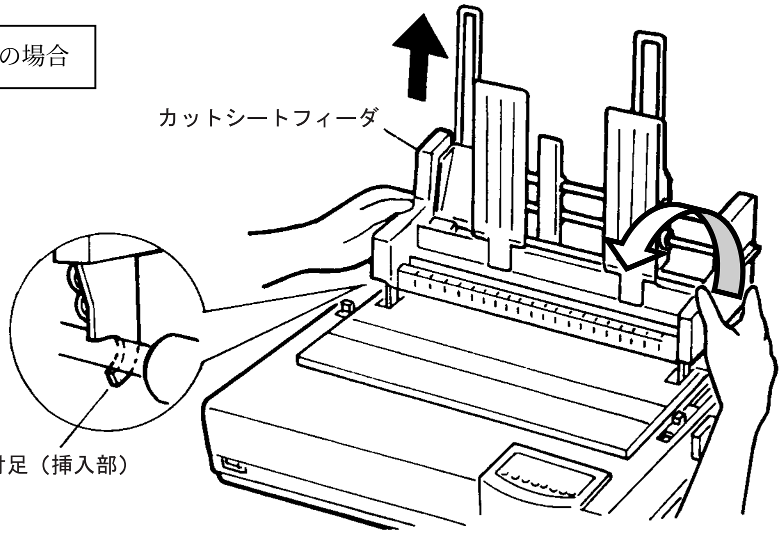
5.5　　カットシートフィーダを取り外す

①プリンタ装置の電源が OFF になっていることを確認してください。
②カットシートフィーダをプリンタ装置から取り外します。
　カットシートフィーダを手前に傾けて取付足をプリンタ装置のプラテン軸から外して
　矢印方向に持ち上げてカットシートフィーダを外します。

FMPR3000 の場合



FMPR-373A の場合



注) 取り外したカットシートフィーダは高温多湿な場所や直射日光の当たる場所は避け
　て保管してください。

6.　用紙のセット

カットシートフィーダを使用して印字を行う場合には,給紙ホッパにセットした単票用紙を自動的に送って連続的に印字を行う場合（自動給紙印刷）と，手挿入口から手動で用紙を一枚ずつセットして印字を行う場合の二通りがあります。

6.1　FMPR3000 での自動給紙印刷の用紙のセット

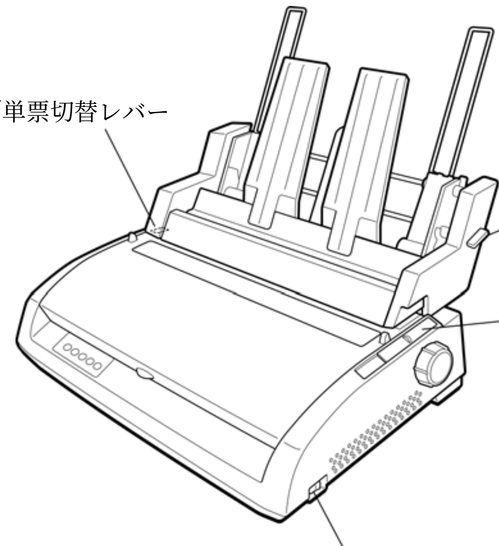
単票用紙をセットして自動的に紙送りを行い印字する場合は，次の手順で行います。

① プリンタ装置の電源を ON にしてください（この時セットされている用紙は排出されます）。

② プリンタの連帳／単票切替レバーを「単票」側にセットします。

③ 紙厚調整レバーをセットする用紙の紙厚に合わせてセットします（紙厚調整レバーのセット位置はプリンタ装置の取扱説明書を参照してください）。

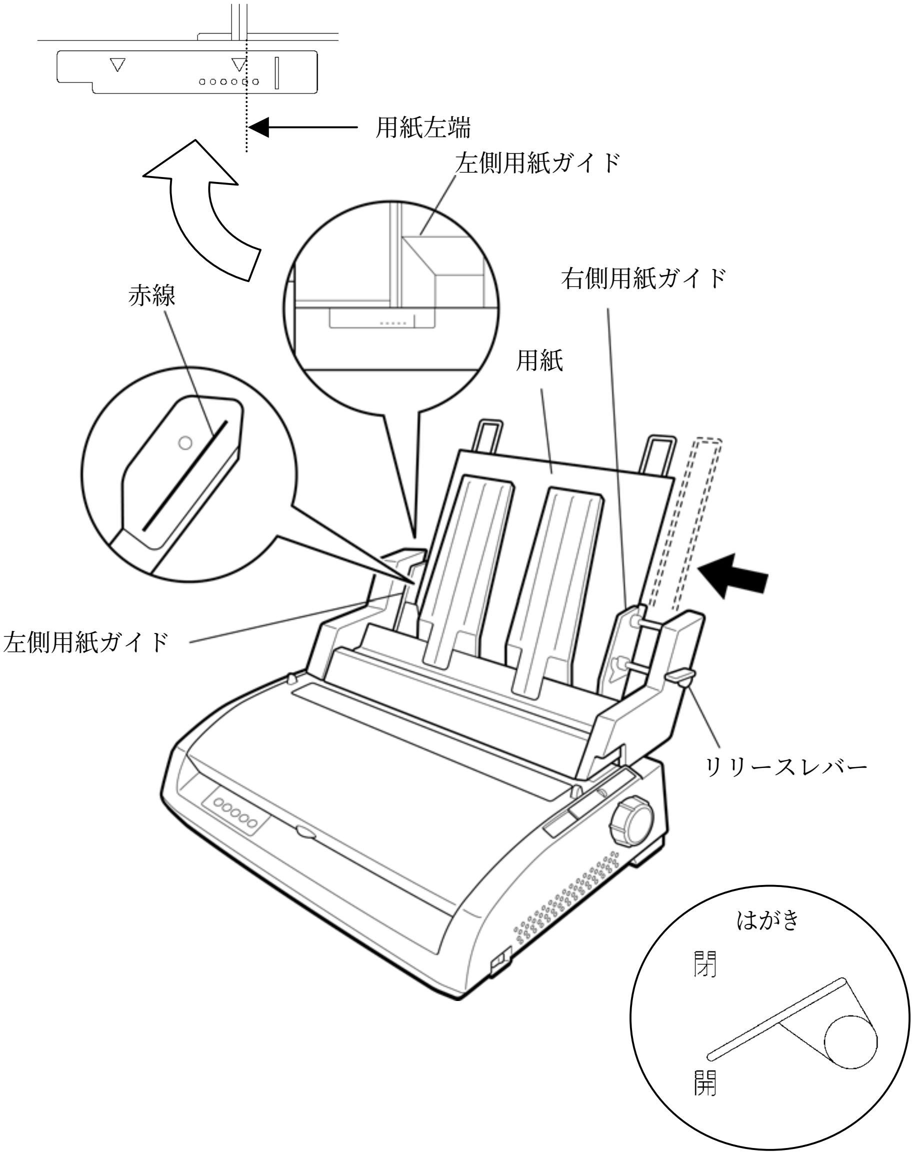
④ カットシートフィーダのリリースレバーを“ 開 ”の位置にセットします。



⑤ 左側の用紙ガイドをスケールの“ ・ ”マークの最右端に合わせると、左端余白（用紙左端からの余白）が最小値（5.08㎜）となりますので目安にして下さい（ドライバを使用して印字する場合はこの位置に合わせます）。B4 横等の幅広用紙を使用する場合は、用紙の大きさに応じて移動します。

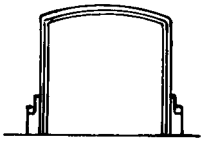
注)左側用紙ガイドを…マークを越えて移動しますと正常動作ができない場合があります。ハガキは，左側用紙ガイドを▼マークの位置でご使用ください。

⑥　用紙を揃えて左右の用紙ガイドの上に載せてセットします(一度にセットできる用紙の量は左側用紙ガイドの赤線までです）。

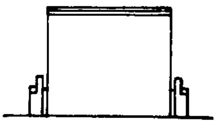


⑦　用紙セット後, 左右の用紙ガイドと用紙の側面が軽く触れる程度に右側用紙ガイドを合わせ、左右の用紙ガイドのロックレバーを奥側に倒してロックしてください。

注）用紙と用紙ガイドとの間に隙間がある場合は, 右側用紙ガイドを左へ動かして隙間をなくしてください。なお, ガイドを用紙に押し付けたままですと吸入不良を起こすことがありますのでご注意ください。

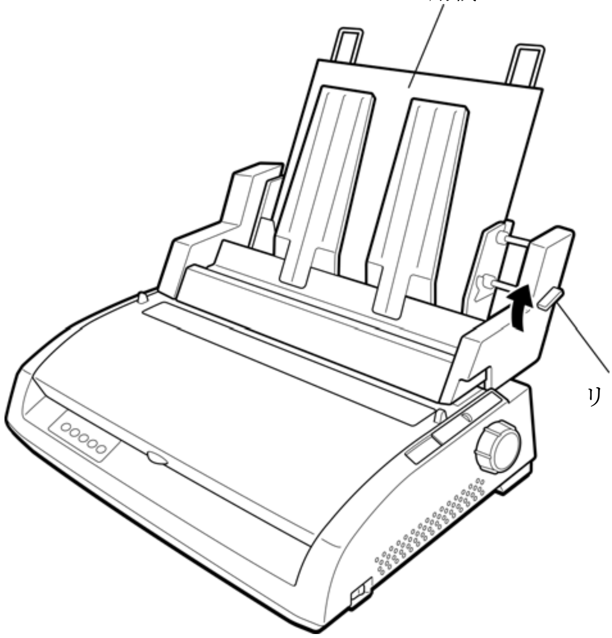


×強く押し付けた場合



○軽く合わせた場合

⑧　リリースレバーを矢印の方向へ回します。
単票用紙をセットするときは“ 閉 ”, ハガキをセットするときは“ ハガキ ”の位置にリリースレバーを合わせます。

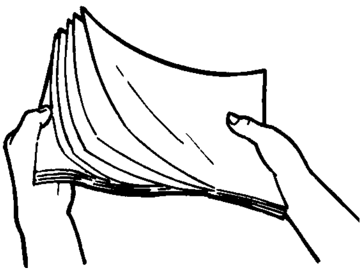


⑨　用紙および用紙のセット時のご注意

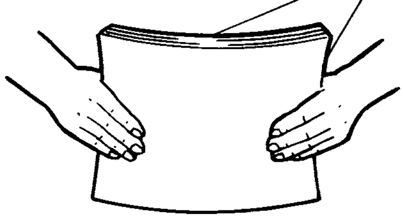
・　用紙は，直射日光の当たらない場所に保管してください。また，用紙は立て掛けないで水平に保管したものをご使用ください。

・　乾燥し過ぎた場所, また湿った場所に保管した用紙は, 吸入不良を起こし易いので, 湿度には十分ご注意ください。

・　セットする場合は, 図のように用紙さばきを行った後, 机に上などで用紙の上下, 左右をきれいに揃えた上でセットしてください。



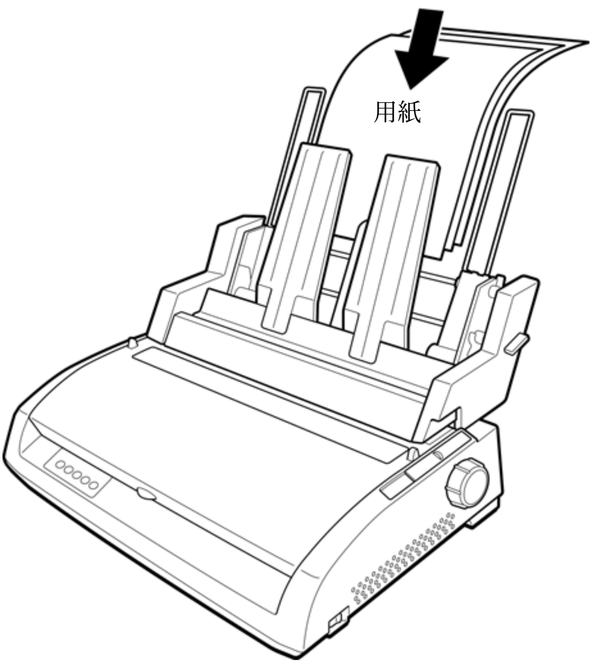
用紙のさばき方



用紙の揃え方

・　用紙はカール方向を合わせてセットしてください。
用紙は，湿度などの影響でカールしていることがありますので，補充および別梱包の用紙を合わせてセットする場合，カール方向を合わせてセットしてください（背中合わせにするとダブルフィードを起こす場合があります）。また，少しカールのある場合は，カール方向を下図のようにセットしてください。

・　紙質は同一種類のものをセットしてください。
銘柄の異なるもの，連量（紙厚）の異なるものを混在させてセットしないでください。



6.2　FMPR3000 での手挿入印刷の用紙のセット

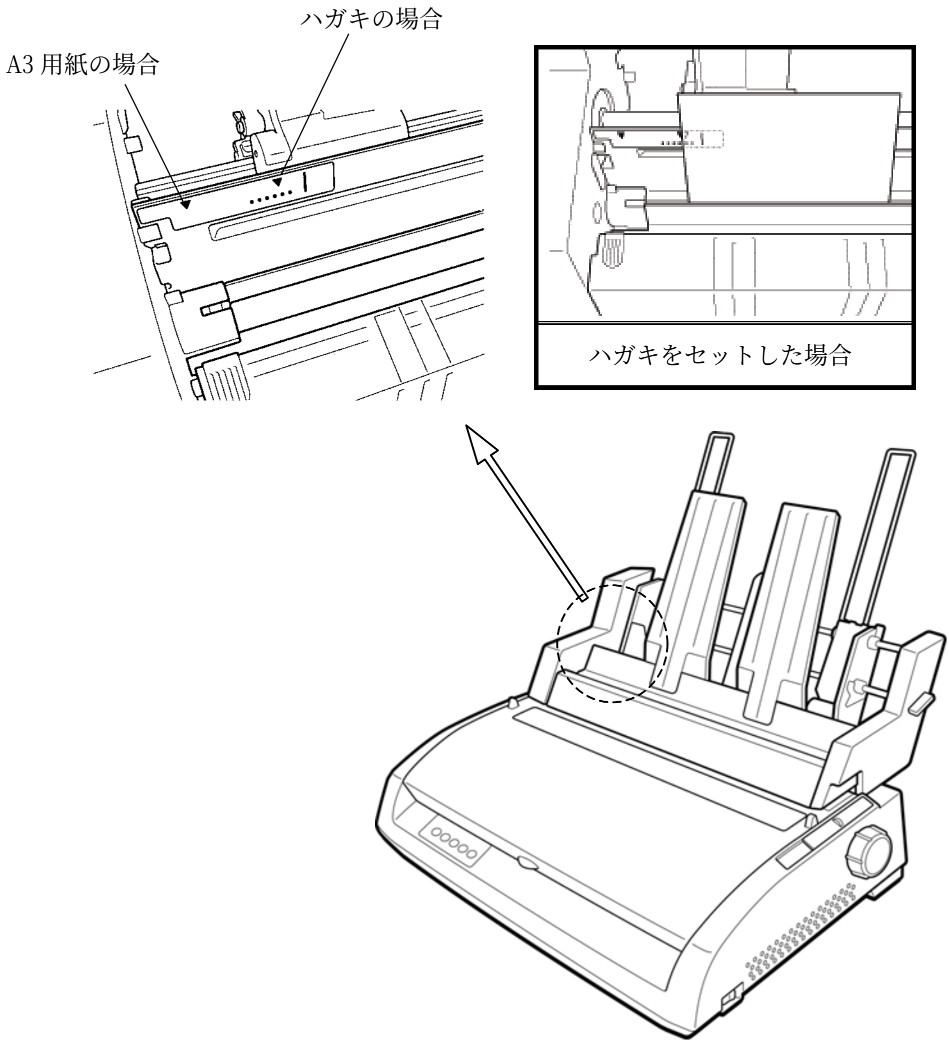
① プリンタ装置の電源を ON にします。

② 紙厚調整レバーをセットする用紙の紙厚に合わせてセットします(紙厚調整レバーのセット位置はプリンタ装置の取扱説明書を参照してください)。

③ 連帳／単票切替レバーを「単票」側にセットします。

④ 用紙の左側をスケールの“・”マークの再右端に合わせて手挿入口から挿入します(A3 用紙を横長方向で使用する場合は左側の▼マークに合わせます)。用紙は左右を平行に，軽く突き当たる所まで挿入してください。

注）用紙の左側は，…マークの範囲内で使用してください。右端の“・”マークが左端余白が最小(5.08㎜)となる位置の目安です(ドライバ使用時はこの位置に用紙をセットして下さい。用紙の左側が…マークの範囲外で使用しますと，正常動作ができない場合があります。ハガキは，右側の▼マークの位置で使用してください。



⑤　操作パネルの「オンライン」スイッチを押下し，「オフライン」状態に切り替えます。

⑥　「用紙セット」スイッチを押します（単票用紙が自動的に印字開始位置まで吸入されます）。

⑦　操作パネル上の「オンライン」スイッチを押して「オンライン」状態に切り替えます。

注）手挿入用紙のご使用時の注意点

カットシートフィーダを搭載した状態で、手挿入の複数ページ印刷を行う場合、2ページ目以降はカットシートフィーダから用紙を吸入します。手挿入で複数ページを印刷する場合は、カットシートフィーダをはずしてから印刷してください。

6.3　FMPR3000 でのカットシートフィーダ搭載状態で連続帳票をご使用の場合

このカットシートフィーダを，プリンタ装置に搭載した状態で，連続帳票を使用できます（連続帳票をプリンタへセットする方法については，プリンタ装置の取扱説明書を参照してください）。

① プリンタ装置の電源を ON にしてください。

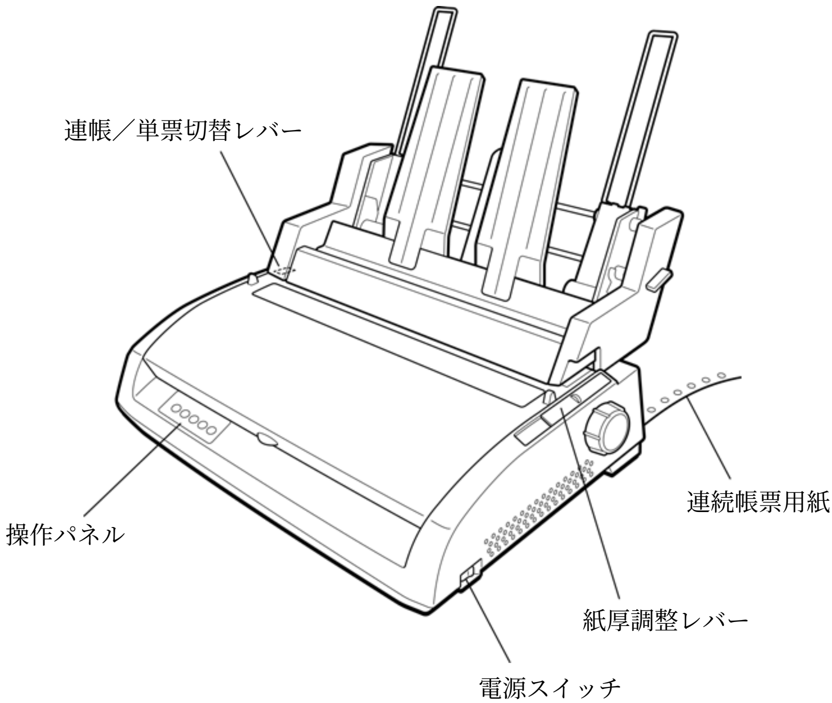
② 操作パネルの「オンライン」スイッチを押し，プリンタ装置を「オフライン」状態（オンラインランプが消えた状態）に切り替えてください。

③ 使用する帳票の厚さ，枚数に応じて紙厚調整レバーをセットしてください（紙厚調整レバーのセット位置は，プリンタ装置の取扱説明書を参照してください）。

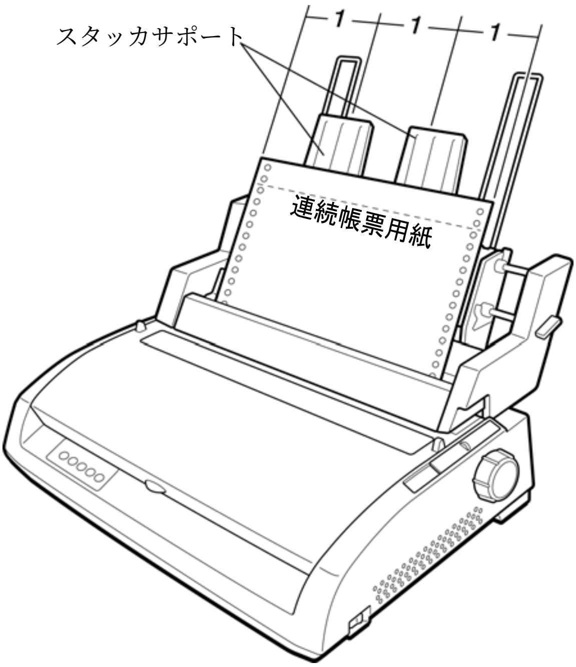
④ 連帳／単票切替レバーを「連帳」側にセットしてください。

⑤ 操作パネルの「用紙セット」スイッチを押します（連続帳票用紙は印字開始位置まで送られます）。

⑥ 操作パネルの「オンライン」スイッチを押して「オンライン」状態に切り替えてください。



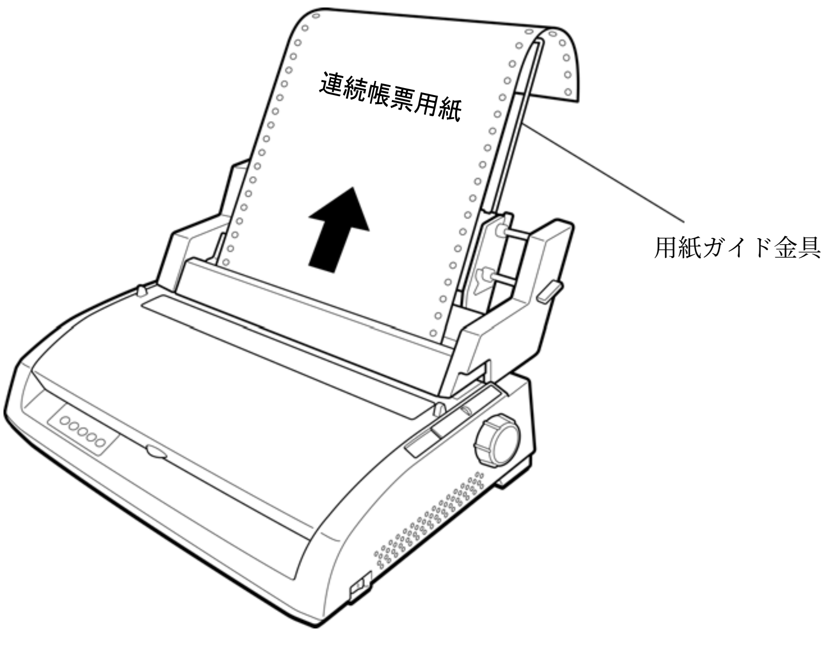
⑦　スタッカサポートを下図の位置（割合比）に動かしてください。



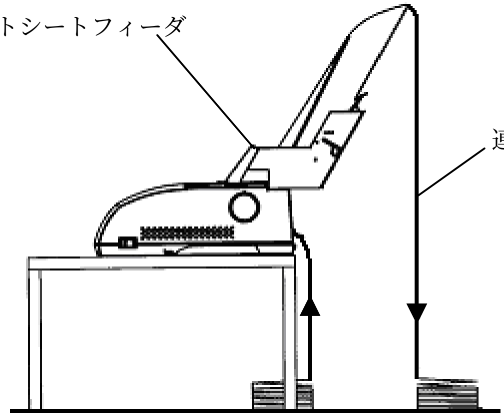
注）連続帳票のご使用時の注意点

カットシートフィーダを搭載した状態で連続帳票を使用の場合，次の点にご注意ください。

①　連続帳票が前面に倒れる場合がありますので連続帳票の繰り出しは最初のミシン目が用紙ガイド金具を乗り越える位置まで送り出してください。



② 用紙の流れをスムーズにするため, プリンタ装置と用紙の位置は下図のように置いてください。



③ カットシートフィーダのリリースレバーを“開”にしてください。

・ カットシートフィーダを取り付けたまま連続帳票用紙を使用する場合はカットシートフィーダを取り付ける前に、連続帳票用紙をセットすることをおすすめします。

・ カットシートフィーダを取り付けたまま連続帳票用紙を使用する場合の用紙の置きかたについては、あらかじめプリンタ本体のマニュアルをご確認ください。用紙の配置が正しくない場合、用紙の流れが机の角などに当たって妨げられ、正しく用紙が送られないため、改行ズレ、斜行印字などが発生することがあります。

＜ご注意＞

「用紙カット」スイッチは, カットシートフィーダを搭載した場合には無効となります。

6.4　FMPR-373A での自動給紙印刷の用紙のセット

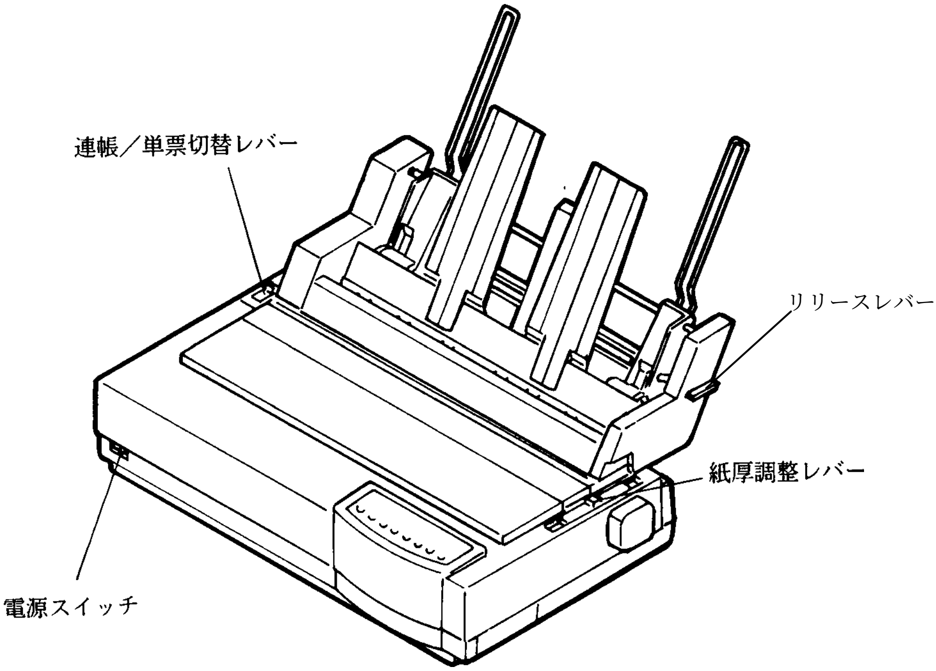
単票用紙をセットして自動的に紙送りを行い印字する場合は，次の手順で行います。

① プリンタ装置の電源を ON にしてください(この時セットされている用紙は排出されます）。

② プリンタの連帳／単票切替レバーを「単票」側にセットします。

③ 紙厚調整レバーをセットする用紙の紙厚に合わせてセットします(紙厚調整レバーのセット位置はプリンタ装置の取扱説明書を参照してください）。

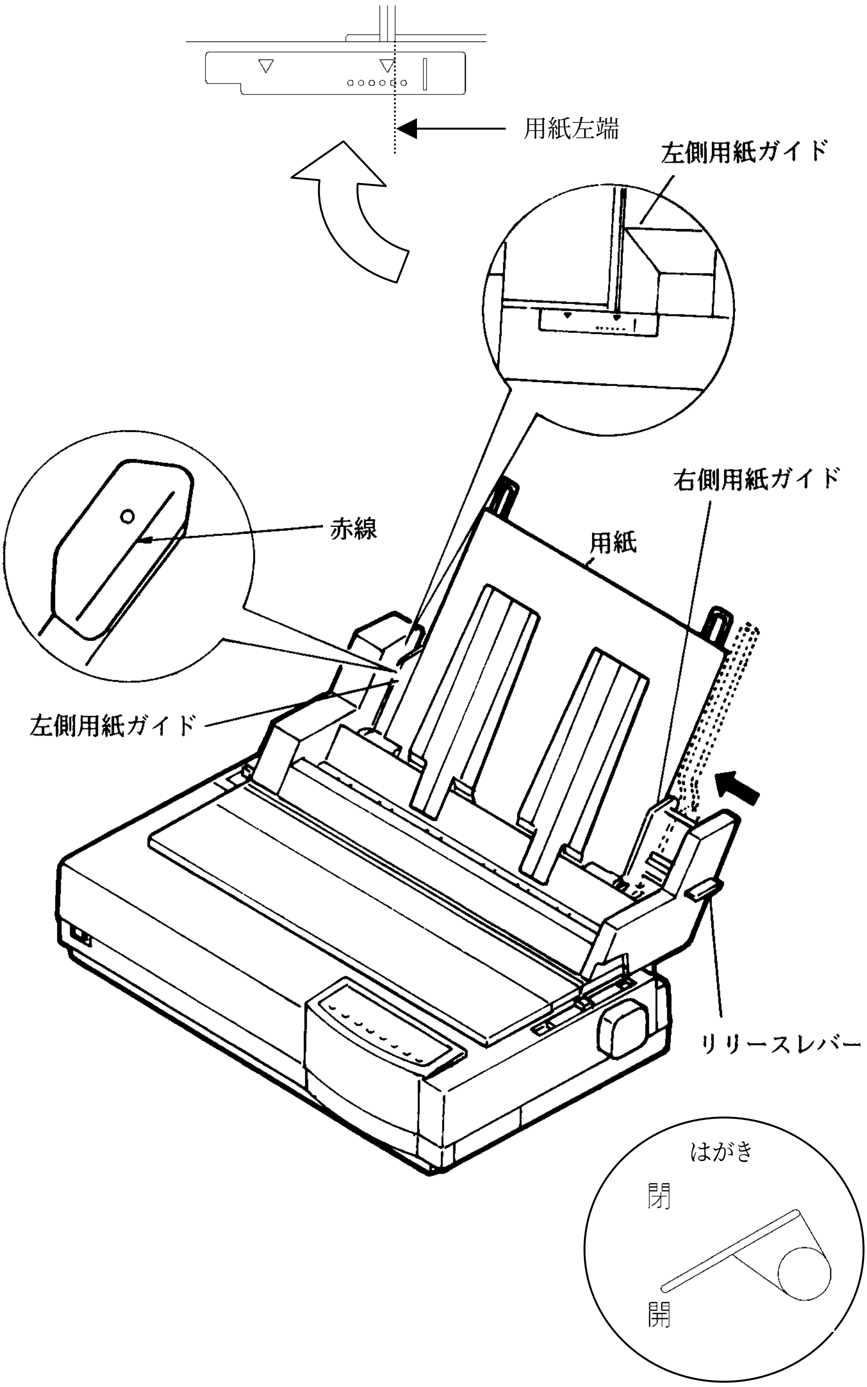
④ カットシートフィーダのリリースレバーを“ 開 ”の位置にセットします。



⑤ 左側の用紙ガイドをスケールの“ ・ ”マークの最右端に合わせると、左端余白（用紙左端からの余白）が最小値（5.08㎜）となりますので目安にして下さい（ドライバを使用して印字する場合はこの位置に合わせます）。B4 横等の幅広用紙を使用する場合は、用紙の大きさに応じて移動します。

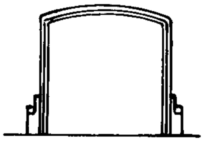
注)左側用紙ガイドを…マークを越えて移動しますと正常動作ができない場合があります。ハガキは，左側用紙ガイドを▼マークの位置でご使用ください。

⑥　用紙を揃えて左右の用紙ガイドの上に載せてセットします(一度にセットできる用紙の量は左側用紙ガイドの赤線までです）。



⑦ 用紙セット後, 左右の用紙ガイドと用紙の側面が軽く触れる程度に右側用紙ガイドを合わせ、左右の用紙ガイドのロックレバーを奥側に倒してロックしてください。

注) 用紙と用紙ガイドとの間に隙間がある場合は, 右側用紙ガイドを左へ動かして隙間をなくしてください。なお, ガイドを用紙に押し付けたままですと吸入不良を起こすことがありますのでご注意ください。

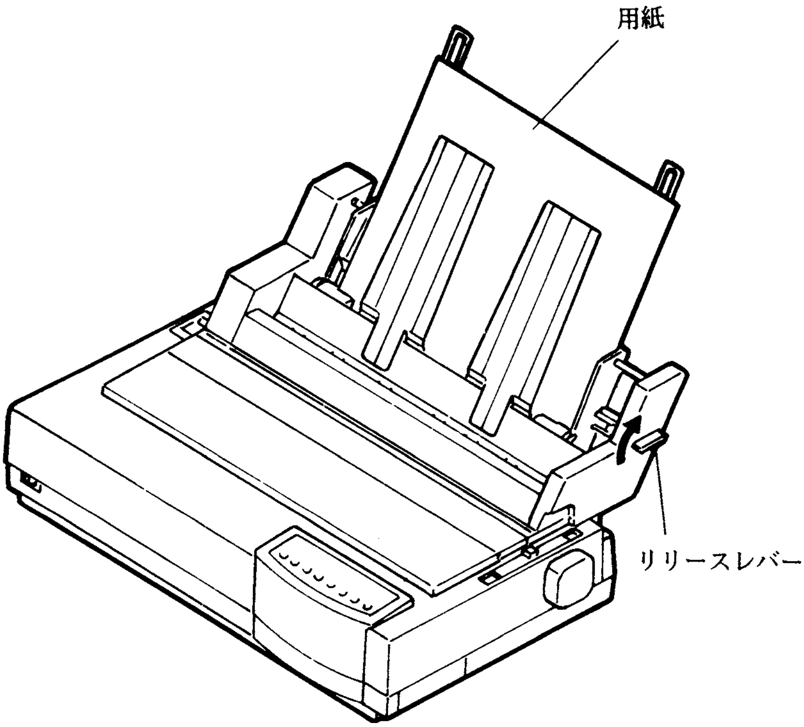


×強く押し付けた場合



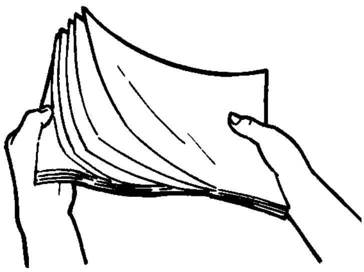
○軽く合わせた場合

⑧ リリースレバーを矢印の方向へ回します。
単票用紙をセットするときは“ 閉 ”, ハガキをセットするときは“ ハガキ ”の位置にリリースレバーを合わせます。

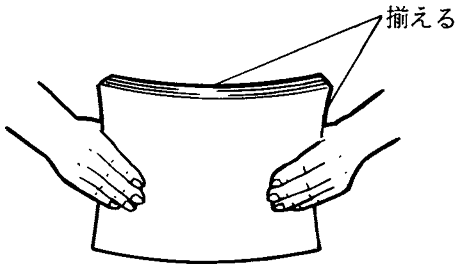


⑨　用紙および用紙のセット時のご注意

・　用紙は，直射日光の当たらない場所に保管してください。また，用紙は立て掛けないで水平に保管したものをご使用ください。
・　乾燥し過ぎた場所, また湿った場所に保管した用紙は, 吸入不良を起こし易いので, 湿度には十分ご注意ください。
・　セットする場合は，図のように用紙さばきを行った後，机に上などで用紙の上下，左右をきれいに揃えた上でセットしてください。

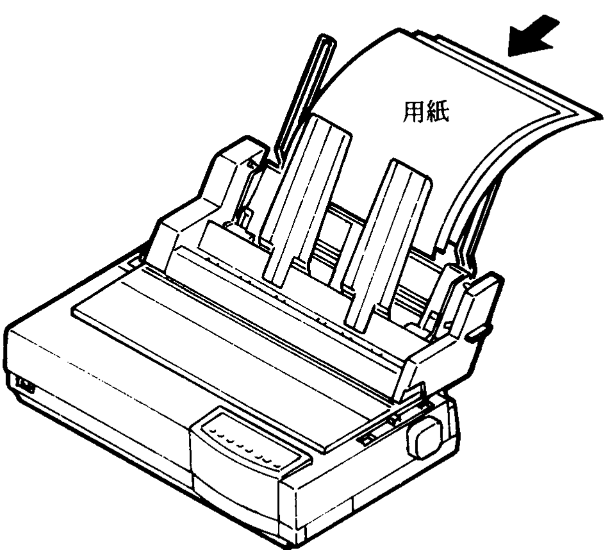


用紙のさばき方



用紙の揃え方

・　用紙はカール方向を合わせてセットしてください。
用紙は，湿度などの影響でカールしていることがありますので，補充および別梱包の用紙を合わせてセットする場合，カール方向を合わせてセットしてください（背中合わせにするとダブルフィードを起こす場合があります）。また，少しカールのある場合は，カール方向を下図のようにセットしてください。
・　紙質は同一種類のものをセットしてください。
銘柄の異なるもの，連量（紙厚）の異なるものを混在させてセットしないでください。



6.5　FMPR-373A での手挿入印刷の用紙のセット

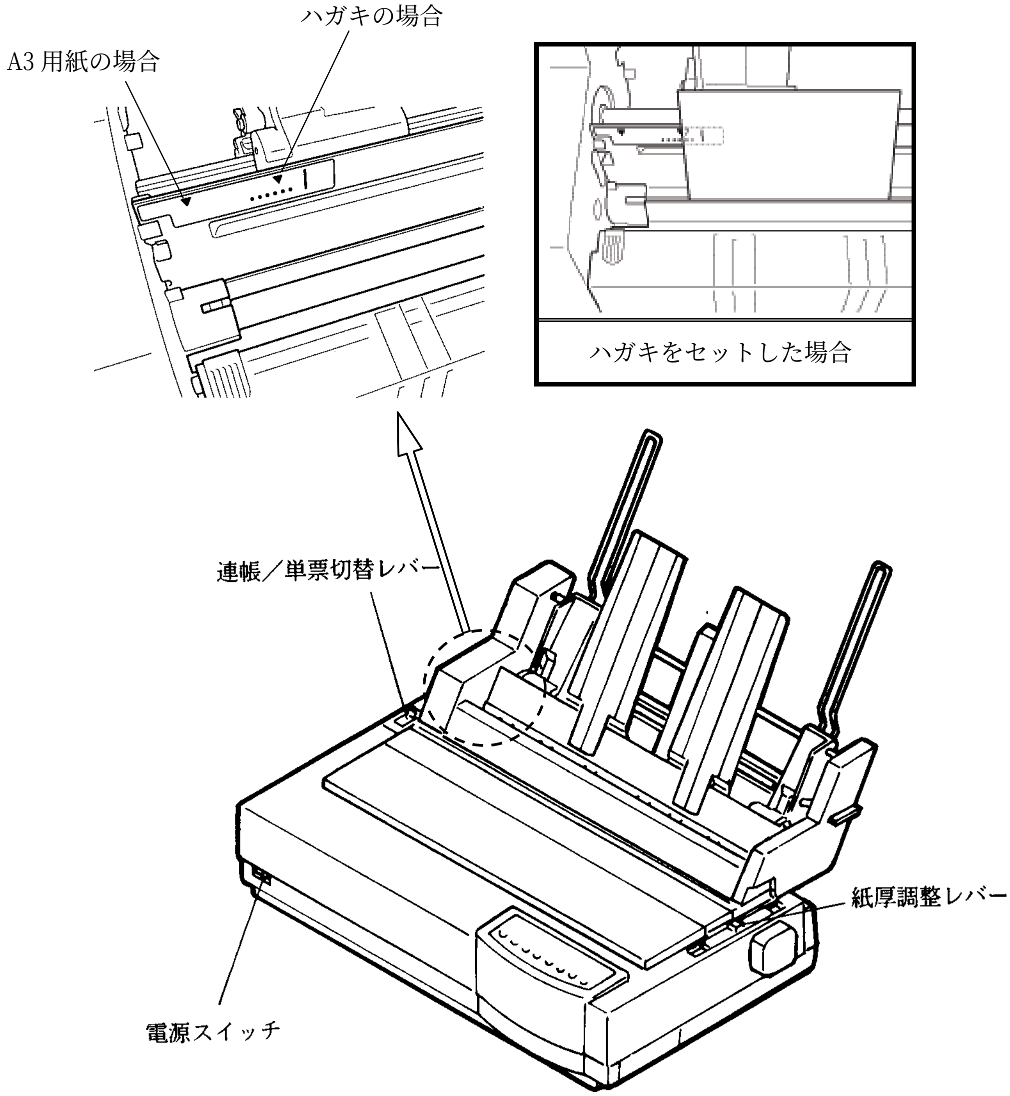
① プリンタ装置の電源を ON にします。

② 紙厚調整レバーをセットする用紙の紙厚に合わせてセットします(紙厚調整レバーのセット位置はプリンタ装置の取扱説明書を参照してください)。

③ 連帳／単票切替レバーを「単票」側にセットします。

④ 用紙の左側をスケールの“・”マークの再右端に合わせて手挿入口から挿入します(A3用紙を横長方向で使用する場合は左側の▼マークに合わせます)。用紙は左右を平行に，軽く突き当たる所まで挿入してください。

注）用紙の左側は，…マークの範囲内で使用してください。右端の“・”マークが左端余白が最小(5.08㎜)となる位置の目安です(ドライバ使用時はこの位置に用紙をセットして下さい。用紙の左側が…マークの範囲外で使用しますと，正常動作ができない場合があります。ハガキは，右側の▼マークの位置で使用してください。



⑤　操作パネルの「オンライン」スイッチを押下し，「オフライン」状態に切り替えます。

⑥　「用紙セット」スイッチを押します（単票用紙が自動的に印字開始位置まで吸入されます）。

⑦　操作パネル上の「オンライン」スイッチを押して「オンライン」状態に切り替えます。

注）手挿入用紙のご使用時の注意点

カットシートフィーダを搭載した状態で、手挿入の複数ページ印刷を行う場合、２ページ目以降はカットシートフィーダから用紙を吸入します。手挿入で複数ページを印刷する場合は、カットシートフィーダをはずしてから印刷してください。

6.6　FMPR-373A でのカットシートフィーダ搭載状態で連続帳票をご使用の場合

このカットシートフィーダを，プリンタ装置に搭載した状態で，連続帳票を使用できます（連続帳票をプリンタへセットする方法については，プリンタ装置の取扱説明書を参照してください）。

① プリンタ装置の電源を ON にしてください。

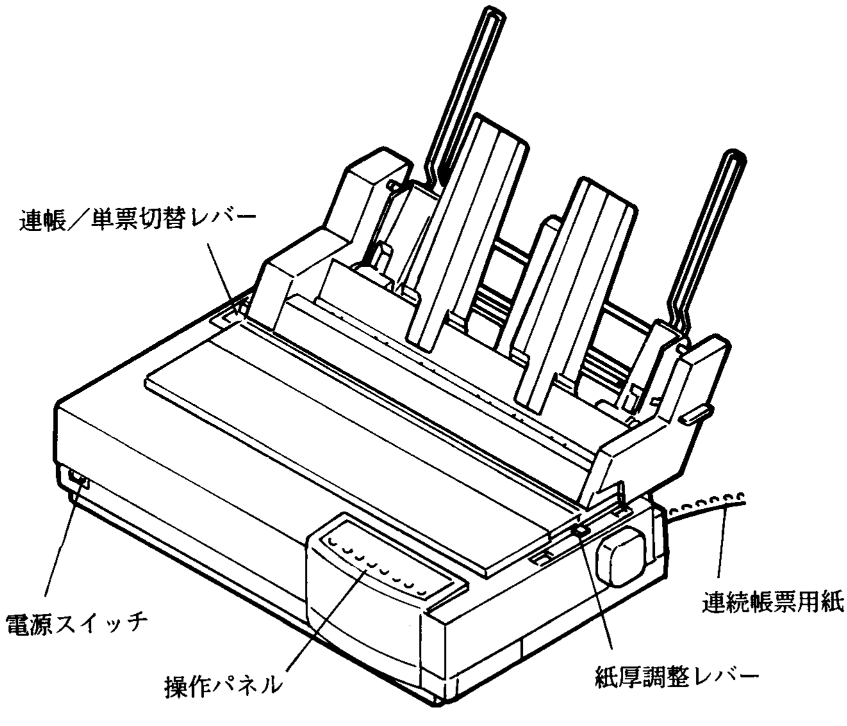
② 操作パネルの「オンライン」スイッチを押し，プリンタ装置を「オフライン」状態（オンラインランプが消えた状態）に切り替えてください。

③ 使用する帳票の厚さ，枚数に応じて紙厚調整レバーをセットしてください（紙厚調整レバーのセット位置は，プリンタ装置の取扱説明書を参照してください）。

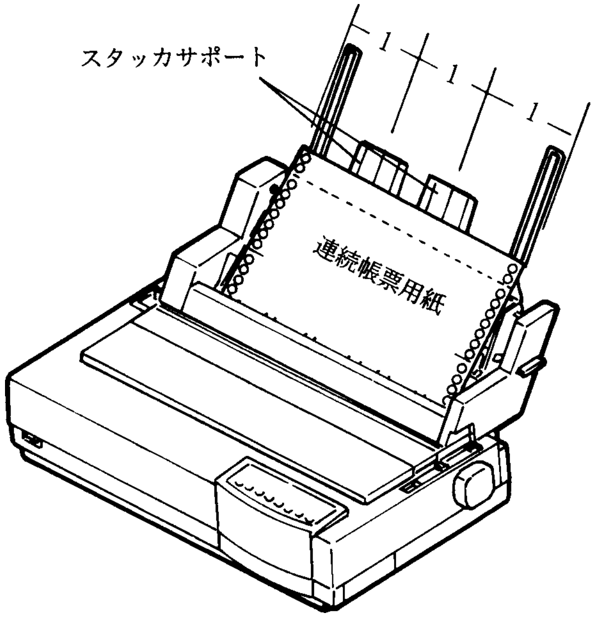
④ 連帳／単票切替レバーを「連帳」側にセットしてください。

⑤ 操作パネルの「用紙セット」スイッチを押します（連続帳票用紙は印字開始位置まで送られます）。

⑥ 操作パネルの「オンライン」スイッチを押して「オンライン」状態に切り替えてください。



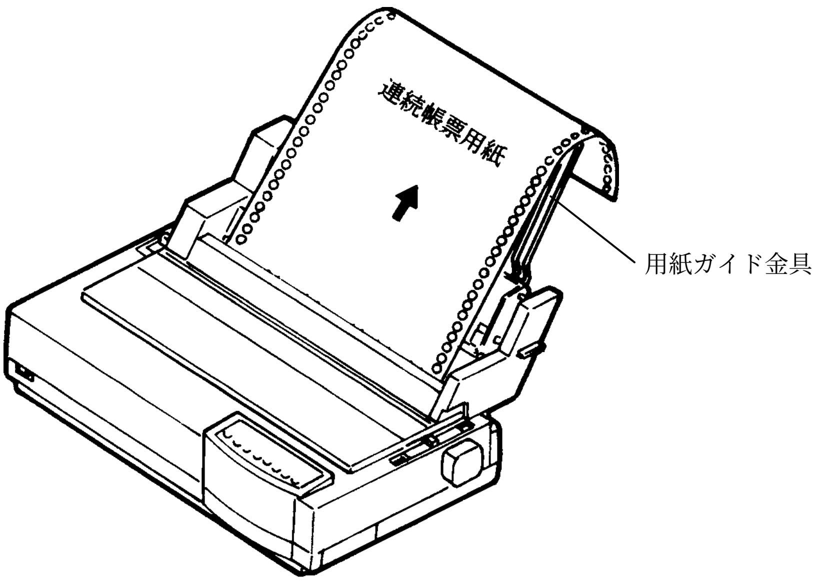
⑦　スタッカサポートを下図の位置（割合比）に動かしてください。



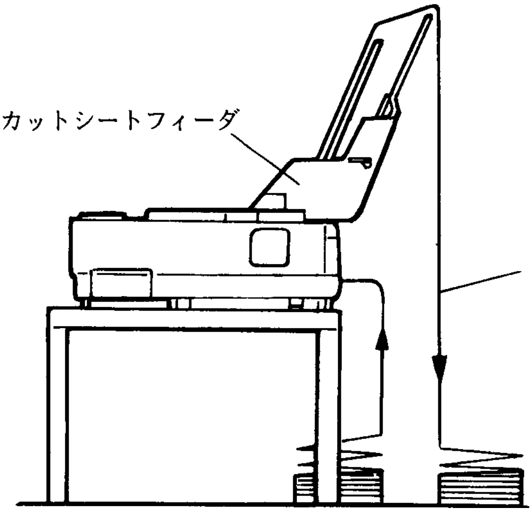
注）連続帳票のご使用時の注意点

カットシートフィーダを搭載した状態で連続帳票を使用の場合，次の点にご注意ください。

①　連続帳票が前面に倒れる場合がありますので連続帳票の繰り出しは最初のミシン目が用紙ガイド金具を乗り越える位置まで送り出してください。



② 用紙の流れをスムーズにするため, プリンタ装置と用紙の位置は下図のように置いてください。



③ カットシートフィーダのリリースレバーを“開”にしてください。

・ カットシートフィーダを取り付けたまま連続帳票用紙を使用する場合はカットシートフィーダを取り付ける前に、連続帳票用紙をセットすることをおすすめします。

・ カットシートフィーダを取り付けたまま連続帳票用紙を使用する場合の用紙の置きかたについては、あらかじめプリンタ本体のマニュアルをご確認ください。用紙の配置が正しくない場合、用紙の流れが机の角などに当たって妨げられ、正しく用紙が送られないため、改行ズレ、斜行印字などが発生することがあります。

<ご注意>

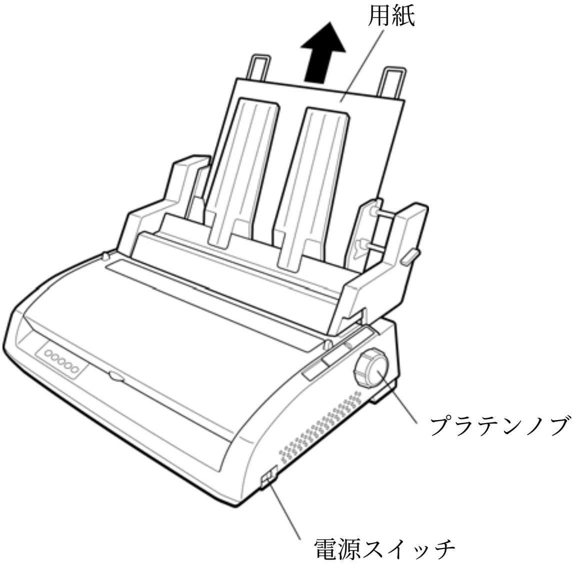
「用紙カット」スイッチは, カットシートフィーダを搭載した場合には無効となります。

7.　紙づまりの取り除き方

※説明図のプリンタ装置はFMPR3000でありますがFMPR-373Aでも同様の方法で用紙を取り除いてください。

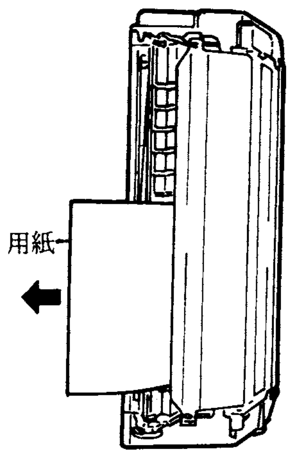
7.1　用紙が給紙ホッパ内に見えている場合

① プリンタ装置の電源を「OFF」にします。
② プラテンノブを回しながら用紙を上へ静かに引き抜いてください。



7.2　内部で紙づまりを起こした場合

① プリンタ装置の電源を「OFF」にし，カットシートフィーダをプリンタ装置から取り外してください。
② カットシートフィーダを立てて，プリンタとの接続部分から、用紙を静かに引き抜いてください。

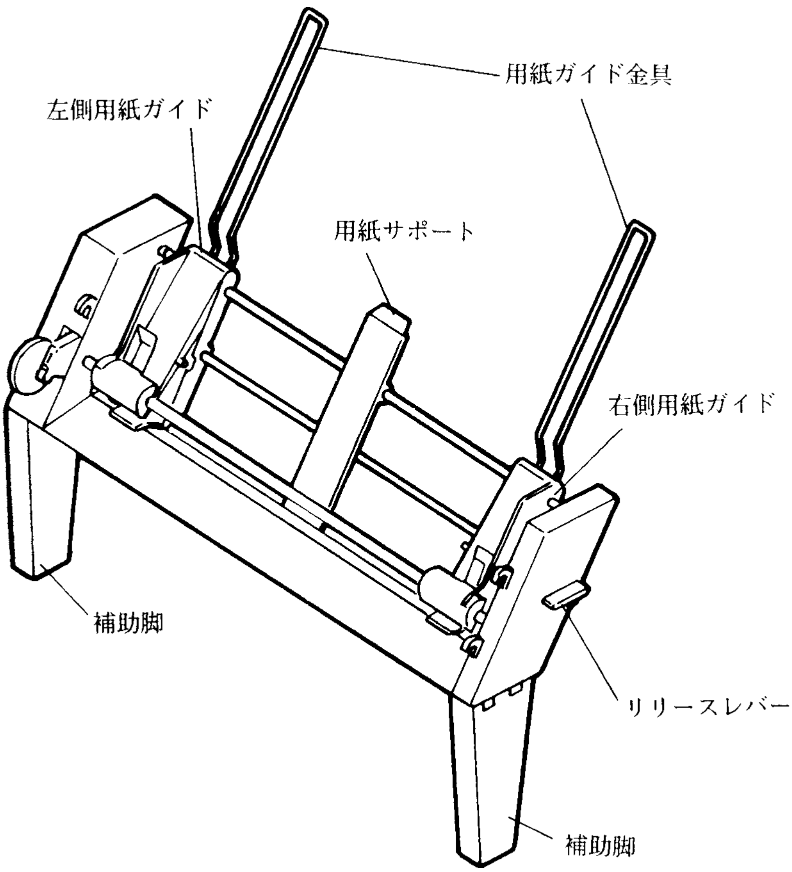


8. オプション用品

8.1 ホッパーユニット FMPR-CF81

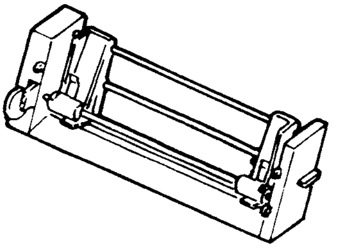
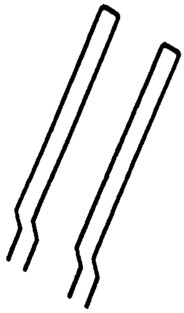
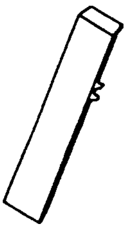
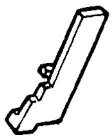
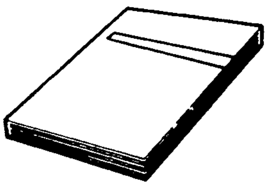
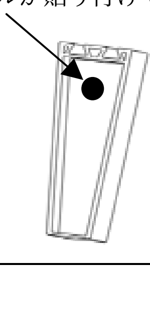
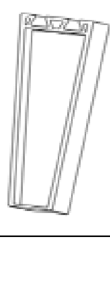
ホッパーユニット(FMPR-CF81)は，カットシートフィーダ(FMPR-CF8)へ取り付けて使用するものです。
このホッパーユニットを取り付けると自動給紙口が2個になり，セットした二種類の単票用紙を選択して使うことができます。
なお，ハガキは使用できませんので注意してください。

(1) 各部の名称



(2) 構成品

ホッパーユニットは次のもので構成されています。

ホッパーユニット本体	用紙ガイド金具（2 個）
	
用紙サポート（1 個）	セカンドビン識別チップ（1 個）
	
取扱説明書	保証書(梱包箱に貼付)
	
FMPR3000 用補助脚（2 個）	FMPR-373A 用補助脚(2 個)
青色のラベルが貼り付けてあります。 	特別な表示はありません。 

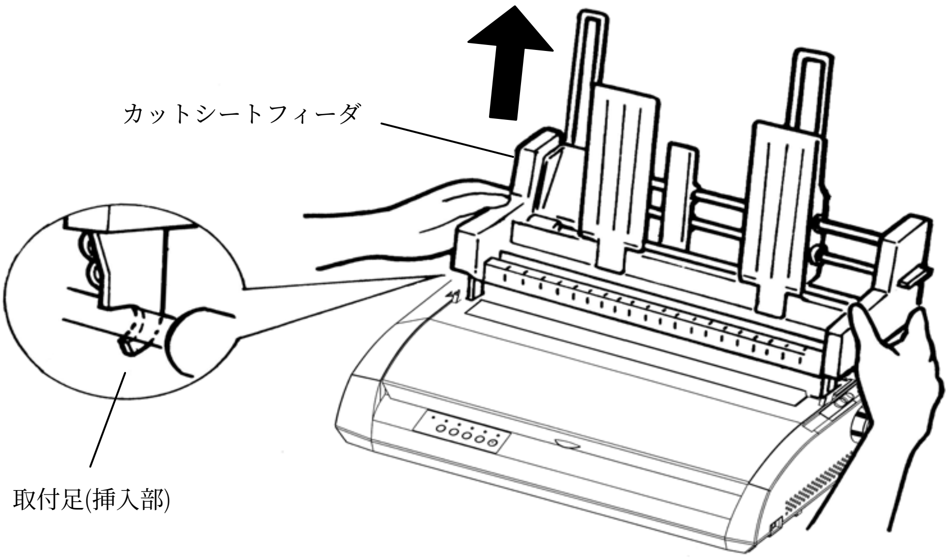
(3) ホッパーユニットを取り付ける前に

ホッパーユニットの取り付けは, カットシートフィーダをプリンタ装置から取り外して行います。

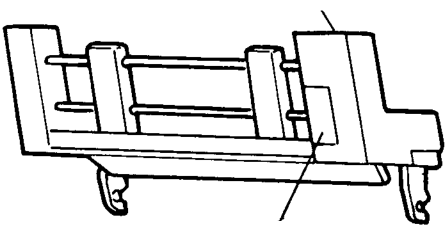
①カットシートフィーダをプリンタ装置から取り外します。

「ご注意」

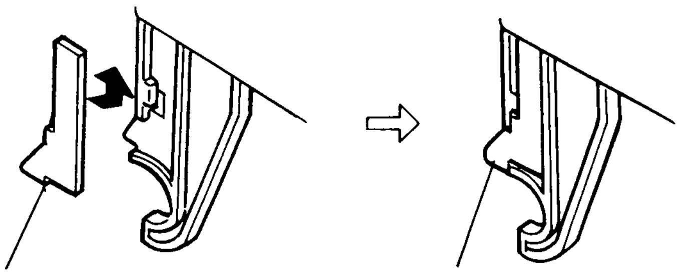
カットシートフィーダを取り付けたり、取り外したりするときは必ず電源を切ってください。



②ギアカバーを折り取ります。



③セカンドピン識別チップをカットシートフィーダの右取付足に取り付けます。



(4) ホッパーユニットの取付け

①用紙サポートを用紙ガイドの横棒の中央に取り付けます。

② 用紙ガイド金具（２個）を左右の用紙ガイドに差し込みます。

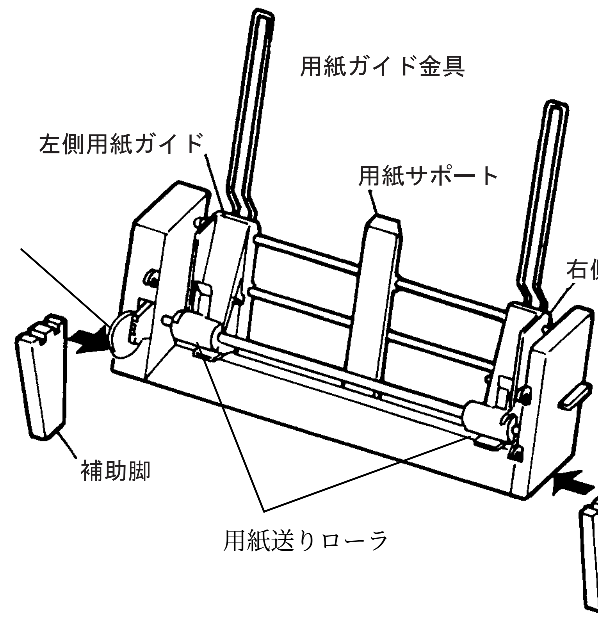
③ プリンタ装置に対応する補助脚を取り付けます。

FMPR3000 ：青色ラベルのある補助脚を取り付けます。

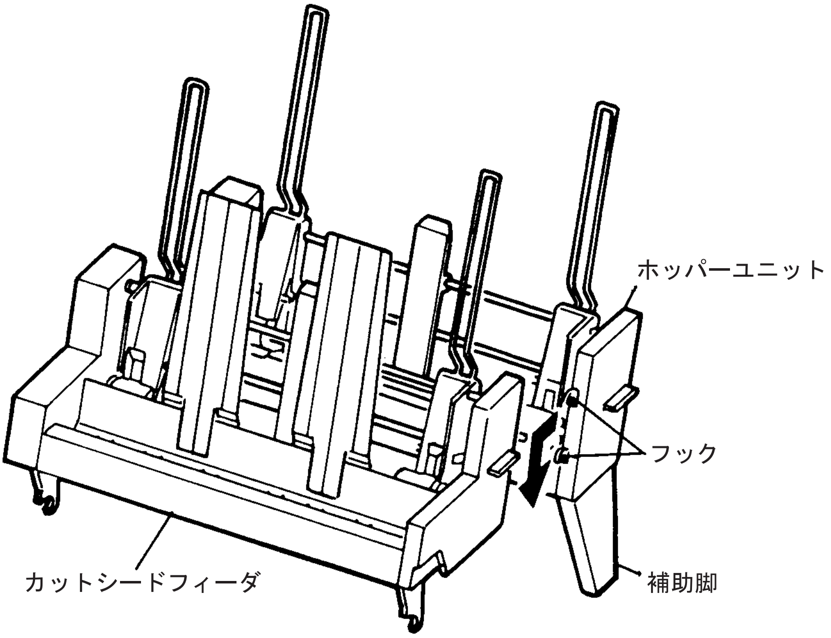
FMPR-373A ：青色ラベルのない補助脚を取り付けます。

「ご注意」

ホッパーユニットを取り付けたり、取り外したりするときにホッパユニットのギア及び用紙送りローラの部分を持たないでください。



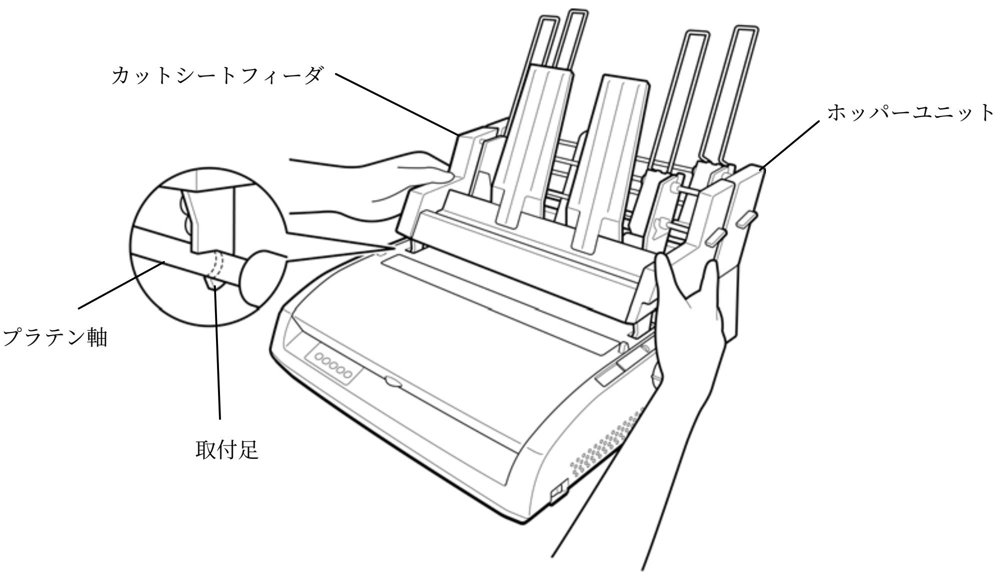
④　ホッパーユニットを後部から矢印方向に押しながら，フック（左右）をカットシートフィーダのスタッドに引っ掛けて下方向へ押し下げます。



⑤　カットシートフィーダをプリンタ装置の上まで持ち上げ,手前に傾けて取付足を溝に差し込み，プリンタ装置のプラテン軸にかませてから，後ろに倒します。

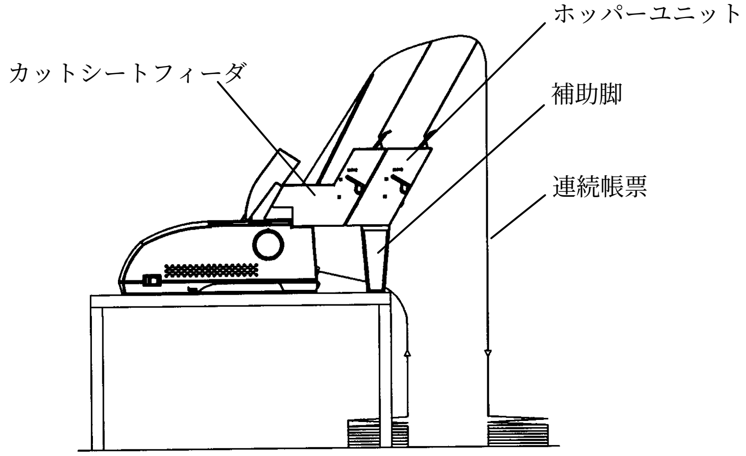
⑥　セットし終えたら,カットシートフィーダが水平にセットされていることを確認してください。

「ご注意」
カットシートフィーダを取り付けたり、取り外したりするときは必ず電源を切ってください。



(5) カットシートフィーダ/ホッパーユニット取り付け時の連続帳票用紙のセットについて

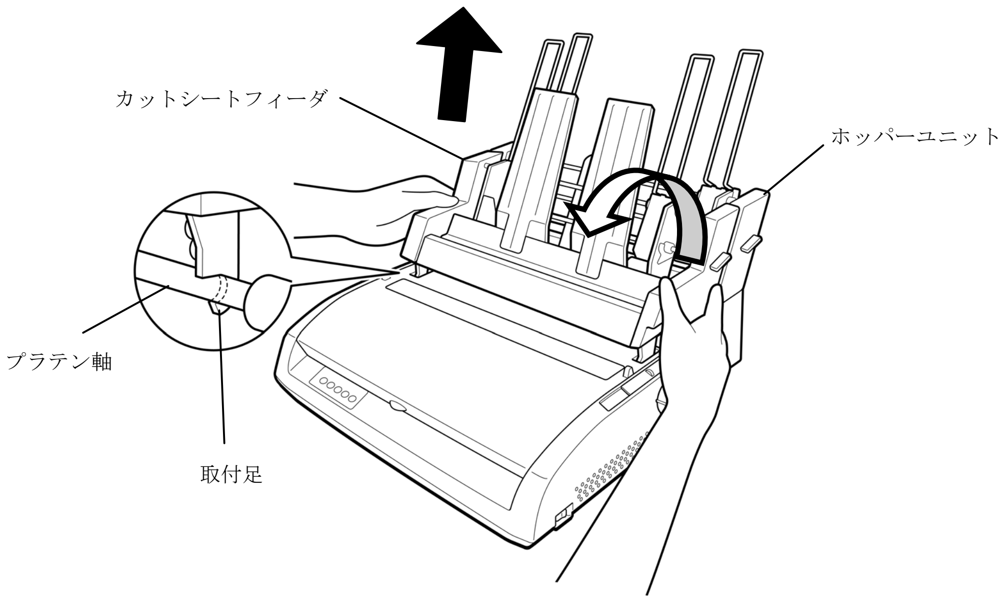
- カットシートフィーダとホッパーユニット(オプション)を取り付けたまま連続帳票用紙を使用する場合はカットシートフィーダを取り付ける前に、連続帳票用紙をセットすることをおすすめします。
- カットシートフィーダとホッパーユニット(オプション)を取り付けたまま連続帳票用紙を使用する場合の用紙の置きかたについては、あらかじめプリンタ本体のマニュアルをご確認ください。用紙の配置が正しくない場合、用紙の流れが机の角などに当たって妨げられ、正しく用紙が送られないため、改行ズレ、斜行印字などが発生することがあります。
- カットシートフィーダとホッパーユニット装着時で連続帳票用紙をご使用の際には、図のようにセットしてください。また、ホッパーユニットが補助脚によって安定している状態になっているか確認してください。



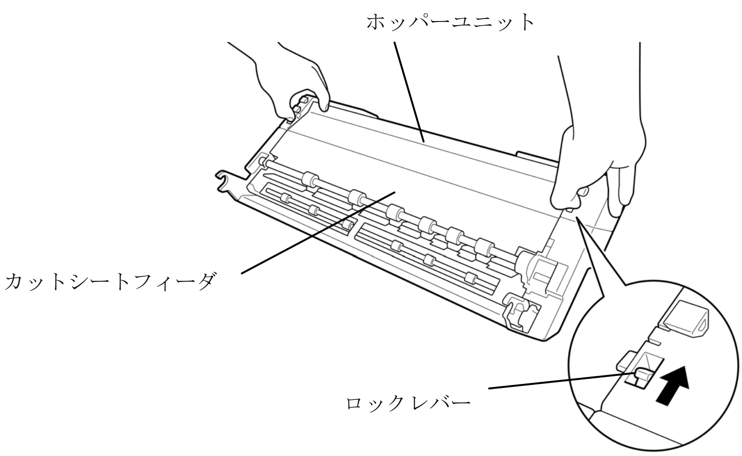
(6) ホッパーユニットの取り外し

①カットシートフィーダをプリンタ装置から取り外します。
カットシートフィーダを手前に傾けて取付足をプリンタ装置のプラテン軸から外して矢印方向に持ち上げてカットシートフィーダを外します。

「ご注意」
カットシートフィーダを取り付けたり、取り外したりするときは必ず電源を切ってください。



② カットシートフィーダからスタッカサポートと用紙ガイド金具、セカンドビン識別チップ、ホッパーユニットから用紙ガイド金具、補助脚を取り外します。カットシートフィーダを裏返しにしてホッパーユニットのロックレバーを押しながら矢印方向にスライドさせカットシートフィーダから外します。
セカンドビン識別チップ取り外し方法は、(3)-③項の取り付けの逆手順で取り外します。



9. 故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に簡単な点検で解決する場合がありますので, 下表の項目について確認してください。

現　　象	原　　　因	処　　　置
カットシートフィーダが動作しない。給紙ローラが回転しない。	カットシートフィーダがプリンタ装置に正しくセットされていない。	カットシートフィーダを正しくセットし直してください。
給紙ホッパに用紙が残っているのに用紙が吸入されない。	右と左の用紙ガイドで用紙をはさんでいる。 用紙が厚すぎる。 給紙ホッパにセットした用紙の枚数が多すぎる。 用紙づまりになっている。 リリースレバーが“閉（水平）”になっている。 プリンタ装置の連帳／単票切替レバーが, 「連帳」になっている。	用紙ガイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。 仕様にあった用紙を使用してください。 用紙の枚数を単票用紙の場合は160枚以内, ハガキの場合は50枚以内にしてください（用紙ガイドの赤線以内にセットしてください）。 つまった用紙を取り除いてください。 リリースレバーを用紙の種類に合わせて, “閉”または“ハガキ”にしてください。 連帳／単票切替レバーを「単票」側にしてください。
複数枚の用紙が同時に送られてしまう（ダブルフィード）。	用紙を十分にさばいてなかった。 単票用紙セットで, リリースレバーが“ハガキ”になっている。 用紙が薄すぎる。 用紙に折れ, 曲がりがある。 左右の用紙ガイドの間隔に狭すぎるか広すぎる。	用紙を十分にさばいてセットしてください。 リリースレバーを“閉”にしてください。 仕様にあった用紙を使用してください。 用紙ガイドを用紙幅に合わせてください。

現　　象	原　　　因	処　　　置
複数枚の用紙が同時に送られてしまう（ダブルフィード）。	給紙ホッパの用紙が不揃いの状態でセットされている。 種類の異なった用紙が混在している。	用紙を給紙ホッパに正しくセットしてください。 用紙の種類は一種類にして紙置台へセットしてください。
紙づまりが起きる。	左右の用紙ガイドの間隔が狭すぎるか広すぎる。 仕様以外の用紙を使っている。用紙に折れ，曲がりがある。 種類の異なった用紙が混在している。 給紙ホッパにセットした用紙の枚数が多すぎる。 給紙ホッパ内の用紙が不揃いの状態でセットされている。 プリンタ装置の紙厚調整レバー位置が正しくセットされていない（狭い）。	用紙ガイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。 仕様にあった用紙を使用してください。 用紙の種類は一種類にして給紙ホッパへセットしてください。 用紙の枚数を単票用紙の場合は160枚以内，ハガキの場合は50枚以内にしてください（用紙ガイドの赤線以内にセットしてください）。 用紙を給紙ホッパ内に正しくセットしてください。 紙厚調整レバー位置を使用する用紙厚に合わせてセットしてください。
行間隔が極端につまる。	プリンタ装置の紙厚調整レバー位置が正しくセットされていない（狭い）。 給紙ローラ，プリンタ装置の用紙送りプラテンと用紙がすべっている。	紙厚調整レバー位置を使用する用紙厚に合わせてセットしてください。 給紙ローラ，プリンタ装置の用紙送りプラテンを清掃してください。

現　　象	原　　　因	処　　置
用紙が極端にかたむく。	用紙不良。 左右の用紙ガイドの間隔が広すぎる。 給紙ホッパ内の用紙が不揃いの状態でセットされている。 プリンタ装置の紙厚調整レバー位置が正しくセットされていない（狭い）。 リリースレバーの位置が正しくセットされていない。	新しい用紙を使ってください。 用紙ガイドを用紙幅に合わせて正しくセットしてください。 用紙を給紙ホッパ内に正しくセットしてください。 紙厚調整レバー位置を使用する用紙厚に合わせてください。 リリースレバーを用紙の種類に合わせて“閉”または“ハガキ”にセットしてください。
用紙が正常に排出されない。	スタッカに用紙が一杯になった。 仕様以外の用紙を使っている。 プリンタ装置の紙厚調整レバー位置が正しくセットされていない（狭い）。	スタッカの用紙を取り除いてください。 仕様にあった用紙を使用してください。 紙厚調整レバー位置を使用する用紙厚に合わせてください。

10. アフターサービスについて

- お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内のみで有効です。
- 無償保証期間は、お買い上げ日より 6 か月です。詳細は保証書をご覧ください。
- 保守部品供給期間は、製造中止後 5 年です。
- 分解、改造などを行わないでください。無償保証期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。サプライ品以外の用品をお使いになったことによる、製品の誤動作および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 故障の際は下記までご連絡ください。

『ハードウェア修理相談センター』

フリーダイヤル　：0120-422-297

受付時間　　　　：平日 9:00～17:00
（土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く）

11. 仕様

(1) 仕様

・使用可能用紙　　・用紙幅　182 ～364mm，用紙長さ　182 ～364mm
〔ただし，ホッパーユニット（オプション）では用紙長さ
210 ～364mm〕
・用紙連量　55～70kg
・官製ハガキ
〔ただし，ホッパーユニット（オプション）では使用できません。〕

・用紙収容量　　・給紙ホッパ側（未印字用紙側）160 枚，スタッカ側 160 枚
〔ホッパーユニット（オプション）でも，用紙置台側（未印字　用紙側）160 枚〕
（注意；上記の収容量は A4 サイズ 55kg 用紙の場合です。）

・外形寸法　　525(W)×364(D)×353(H)mm
（補助紙置台およびスタッカ紙置台を含む寸法）

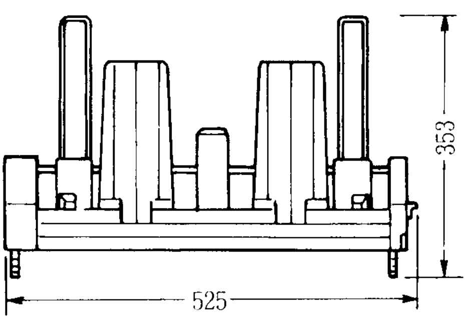
・重量　　3.2kg

(2) 環境条件

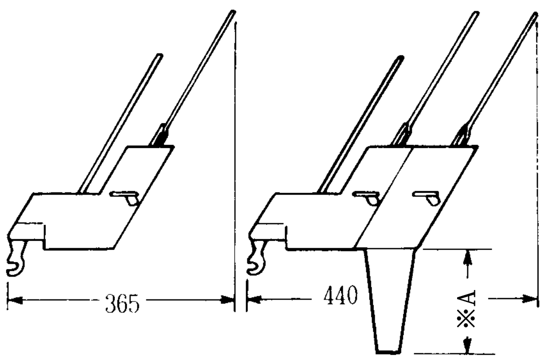
・温度
① 稼働時　　5～35℃
② 非稼働時　　－15～60℃　ただし温度変化は 15℃／H 以下

・湿度
① 稼働時　　30～80%RH
② 非稼働時　　5～95%RH　ただし結露なきこと・30%RH／日以下

(3) 装置外観図



カットシートフィーダ単体の場合



カットシートフィーダ＋ホッパーユニット

※A 寸法
FMPR3000 用補助脚取り付け時　：110
FMPR-373A 用補助脚取り付け時　：118

カットシートフィーダ　FMPR-CF8
取扱説明書

B5WY-0951-01

発 行 日　　2005 年 5 月　初版発行

発行責任　　富士通株式会社

Printed in Japan

このマニュアルは再生紙を使用しています。